

天

ゆたや
伸びやかに

起筆はすへて
蔵鋒を書きまわす

虚

和

穂先で長く
へこみをつける

懐

虚懐天和を養う
きよかいてんわ やしな
虚心にして心の平和を養う
(蘇軾)

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の
倣書で書いています。
書は行書の筆意を帯びた楷書。
点画の間は軽妙な細い線で、
ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。

養